

# 福井の風土と“生活の質”

## 地域社会の幸福度を考える

Q  
O  
L福井ライフ・  
アカデミー  
連携入場  
無料

昨春秋「福井県は幸福度全国一」という研究結果が東京の大学から発信され、内閣府の「幸福度指標」試案と併せて、全国的に注目されました。そして昨年は東日本大震災を機に、だれもが「幸せって何だろう?」と真剣に考えさせられました。

そうした「幸福(幸せ)」の問題に現代医療は「生活の質(QOL)」の向上という仕方に取り組んでいます。本シンポジウムでは、先端的な研究動向を紹介し、福井の風土に根差した“生活の質”を考えてみます。

| SCHEDULE |

## 1 基調講演

「生命と環境を包括する新たなQOL理解」

東京大学大学院特任教授 清水 哲郎

略歴:東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上講座特任教授。1947年生。東京大学理学部天文学科を卒業後、東京都立大学・同大学院で哲学を専攻。北海道大学・東北大学を経て2007年より現職。1980年代後半から医療現場に臨む哲学に取り組み、現在では臨床倫理学・臨床死生学、さらには高齢者ケアにも活動領域を広げている。日本医学哲学・倫理学会会長。



## 2 報告3題

「地域の希望と幸福—ふるさと希望指数(LHI)の活用」

福井県総合政策部政策推進課長 池田 禎孝

「生活習慣と健康長寿の関わり—入浴調査から考える」

福井大学医学部環境保健学助教 梅村 朋弘

「幸福度指標と環境・風土—思想史からの考察」

福井大学医学部医療人文学准教授 宮島 光志

## 3 全体討論

日時 / 2012年 9月 15日 (土) 13:30~16:30

会場 / 福井大学アカデミーホール(文京キャンパス)

主催 / 福井大学地域貢献推進センター、福井大学財務部環境整備課(環境ISO担当)

共催 / 福井大学地域環境研究教育センター

後援 / 福井県、福井新聞社、FBC福井放送、  
福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ

創造力、実践力。



国立大学法人  
福井大学  
UNIVERSITY OF FUKUI